

市民のみなさまへ

市長の松井でございます。

市民のみなさまにおかれましては、これまでの感染症対策による様々な社会生活の制約の中で、大変ご苦勞をおかけしてまいりました。そのようなみなさまのご理解とご協力に対しまして、深く感謝申し上げます。

さて、ご承知のとおり 5 月 25 日を以て、全ての都道府県で緊急事態宣言が解除されて以来、約 4 週間が経過しようとしています。

経済活動を段階的に再開する緩和の目安も、6 月 19 日からステップⅡに入りました。

しかしながら、一方では、東京を中心に、新規感染者が発生している状況を踏まえ、まだまだ気を緩めず、第 2 波に向けた備えを万全にしていかなければならないと強く思っております。

そして、第 2 波への備えに向けては、これまでの活動の自粛による地域経済へのダメージが大変大きく、市民生活への不安が増大していることを踏まえながら、「新しい生活様式」を実践していくことが重要であると考えています。

そこで、本日、6 月 19 日（金）から 7 月 9 日（木）までの、段階的緩和ステップⅡに入るにあたり、私の考えをお伝えしたいと思います。

1、これまでの新型コロナウイルス感染症への対策等についての振り返り

桜井市における感染者は、4 月 27 日、4 月 29 日、5 月 20 日にそれぞれ 1 名が発生し、合計 3 名でございました。その後、桜井市で新たに感染者は出ておりません。市内や県内で感染拡大が概ね抑制されたのは、医療従事者や保健衛生当局をはじめとする、感染症対策の最前線で献身的に活動されたみなさまのご努力と、奈良県の休業要請や自粛要請、そして、学校等の臨時休業にご理解とご協力いただいた市民のみなさまの頑張りによる成果であると考えています。

この間の市の対応としては、私を本部長とする「桜井市新型コロナウイルス対策本部」を設置し、国や県、市医師会と情報の共有や連携を行うとともに、学校や公共施設の臨時休業、行事・イベントなどの自粛等の感染防止対策を行ってまいりました。

一方、こうした活動自粛により地域経済は大きなダメージを受けました。

そこで、国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した、感染防止対策事業及び地域経済回復に向けた事業、新型コロナウイルス助け合い基金設立等を決定してお示しし、実施しているところです。

これまで、市の対策について市民のみなさま方はじめ様々な方から、助言やご意見等をいただいております。こうしたご意見等を踏まえ、第 2 波への備えを万全に行なってまいりたいと考えております。

2、第2波への備えについて

第2波への備えにあたりましては、緊急事態宣言に伴う活動自粛により、地域経済が大きなダメージを受けたことを踏まえ、再度の活動自粛に至らないための取組み、「新しい生活様式」の実践を定着させる対策を行っていくことと合わせて、段階的に緩和を進め、地域経済を回復させるための取組みを同時に行っていくことが大変重要であると考えております。このことから、これまで決定した事業を着実に実施していくとともに、今後、国や県から示される財政支援を最大限活用し、次なる対策を取りまとめ、力強く取組を進めてまいります。

結びに、新型コロナウイルス感染症との戦いは長期戦になるとの覚悟のもと、市民のみなさまの命と暮らしを守り、安心安全な生活を目指し、対策に万全を期して取り組んでまいりますので、引き続き、市民のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年6月19日
桜井市長 松井正剛